



宇都宮 ゆい 区政レポート

ご相談はお気軽に 電話 090-1406-7995 メール yuri-utsunomiya@kyoukita.jp

暮らし応援の予算に

2月26日より北区議会第1回定例会

新年度予算案を審議

北区は2月9日、令和6年度当初予算案を発表しました。一般会計の総額1814億円、前年度比165億円(8.3%減)となるものの納税者数1人あたりの所得の伸びが見込まれ、増収傾向となっています。

さらに令和5年度末、財政調整基金残高は199億円余と過去最高規模となりました。第1回定例会では、物価高騰が続く中、区民の暮らし最優先の立場で予算組み替えも提案します。

子どもの権利を守る条例を制定

2か年にわたり議論を重ねてきた子どもの権利を守る条例は「東京都北区子どもの権利と幸せに関する条例」として議案が提出されます。

北区デジタル推進条例

また区役所での手続きを原則オンラインとする「北区デジタル推進条例」も新設条例として提出されます。



区民要望が実現

新規事業では党区議団が求めてきた補聴器購入費補助が実現するほか、2025年度からスタート予定の北区独自の給付型奨学金制度の検討や私も議会で求めた活気をもたらす商店街支援が盛り込まれました。(裏面参照)

神谷小学校閉校式へ

2月17日、母校である神谷小学校の閉校式、感謝の会に参加しました。

子ども達のうたう合唱「友よ」や校歌に目頭が熱くなりました。PTAの皆さまの運営で行われた感謝の会は神谷小の歴史を振り返る動画に懐かしさがこみ上げてきました。

4月に開校する「都の北学園」は子ども達がのびのび学びあえ、地域の皆さんから愛される学校となるよう議会の立場からも支援していきたいと思えます。神谷小学校、ありがとうございました。(宇都宮ゆり)



新年度予算案の主な事業

北区の2024年度予算案に計上された主な新規事業を紹介します。



高齢者の補聴器購入費補助

851万6000円

聴力機能の低下によりコミュニケーションが取りにくい住民税非課税（均等割のみ課税含む）の高齢者に、7万円を上限に補聴器購入費用を助成。



活気もたらす商店街支援

1億741万3000円

北区商店街連合会が検討を進める区内共通商品券デジタル化等の支援や、商店街コーディネーターによる伴走支援により、商店街活性化を創出する。



友好都市と連携した環境政策

896万1000円

友好都市等と連携して、宿泊を伴う環境学習事業の実施、区役所が排出する二酸化炭素の、森林環境譲与税を活用したオフセットなどに取り組む。



避難所環境のさらなる充実

6114万2000円

避難所における衛生面等の課題を踏まえ、簡易トイレ袋の備蓄を増量するとともに、避難者の通信環境を確保するための蓄電池を新たに導入する。



平和都市宣言記念事業

953万1000円

北区名誉区民・故北村西望氏制作による「平和の女神像」創建50周年行事の開催、戦後80年誌の2025年度発行に向けた準備・検討を進める。



日本語教室への運営費補助

51万円

地域で外国人などに対し、日本語を教えているボランティア教室の運営団体に、1団体あたり上限10万円の運営費を助成する。



子どもの権利普及啓発

1142万6000円

この4月1日に施行予定の「北区子どもの権利と幸せに関する条例」の内容について、出前講座や動画の作成、パンフレット作成などを行う。



遺族サポートデスクの設置

2279万2000円

遺族が行う受付、申請書作成の補助、関係する課への案内など、およそ60種類の事務手続きについて、庁内の窓口で遺族に寄り添った支援を行う。